

健康管理士一般指導員活動事例取材シート

健康管理士番号	H - 20539
お名前	伊藤 郁江
性別	女
年齢	30歳



なぜ健康管理士一般指導員の資格を取得しようと思ったのですか？

独身の頃は、開業医の歯科医院で勤務していましたが(矯正専門医だったので、子どもさんが多かった)、結婚後病院歯科へ就職し、担当する患者さんのほとんどが何かしらの疾患をお持ちでした。それぞれの疾患などに対して、ある程度の知識はあったものの、より詳しく、また再確認の意味で勉強がしたい！！と思った時、この健康管理士一般指導員の資格を知り、興味を持ちました。

健康管理士一般指導員受験対策講座(通信教育)から資格取得までの感想はいかがですか？

ちょうど講座を受けている時、一人目を妊娠中でしたので、仕事や家事の合間、また体調をみながら行うには、自分のペースで学ぶ事が出来たので良かったと思います。また、自分の持っている知識以外の内容について、しっかり理解できるか不安でしたが、とても分かりやすいテキストだったので学びやすかったです。

健康管理士一般指導員の資格をどこで・どのように活用していますか？

歯科衛生士という仕事は、単に歯科医のアシスタント業務だけではなく、長期にわたって患者さんのむし歯や歯周病予防のお手伝いをします。その際、生活習慣や全身疾患も含めたトータル的な保健指導を行います。患者さんはどうしても、口の中(歯)だけの問題と考えられがちです。一人でも多くの患者さんのお口の健康を守るためにも、さらに勉強を続けて、保健指導に取り組んでいきたいと思っています。

その他「ほすぴ」や「セミナー」「能力開発講座」等の感想がありましたらお書きください。

定期的を送られてくる「ほすぴ」のおかげで、学生時代でも学ばなかった事(東洋医学など)も学べて良いと思います。また、内容も分かりやすいので、一般の方でも学びやすいのでは？と思います。